

令和5年第4回西之表市議会定例会

所信表明並びに提案理由説明

皆さん、おはようございます。

本日、ここに令和5年第4回西之表市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご出席くださいます、誠にありがとうございます。

はじめに、11月29日屋久島沖で米軍機オスプレイの墜落事故がありました。この事故発生の衝撃は極めて大きく、島民の不安が広がっており、誠に遺憾であります。第一には、犠牲者を悼むとともに、行方不明の搭乗員が、一日も早く発見されることを願うところであり、そして、国や米軍に対しては、速やかに事故の原因究明及び正確な概要の公表を行うことはもちろん、二度とこのような悲惨な事故が起きないように対応を強く求めるものであります。

社会における様々な活動が戻りつつあるなか、国は、物価高騰の中で経済政策重視の姿勢を強調しています。コストカット型経済から成長型経済への転換を図る姿勢を打ち出し、11月29日には、物価高騰対策等の補正予算が成立しました。市民生活や地域経済への影響を踏まえ、スピード感を持って対策を講じてまいります。

新型コロナウイルスの5類移行後の感染対策については、市民の皆さまのご理解とご協力により、西之表保健所管内の感染者数は現

時点において低い水準で推移しております。一方、インフルエンザについては全国的にも感染が拡大する中、11月30日には県内全域を対象とした「インフルエンザ流行発生警報」が発令されました。

引き続き場面に応じた感染対策に心がけていただくとともに、年末年始に向け、帰省や旅行など、人の動きが活発化する時期でもありますので、ワクチン接種についてもご検討いただきたいと思えます。

それでは、第3回定例会以降に開催された市の行事や取組みについてふれたいと思えます。

まずは、本市出身者の功績や活躍についてご報告をいたします。

お一人目は、CGアーティスト河口洋一郎氏が本年度の文化功労者選ばれました。2010年にはCGの世界におけるノーベル賞といわれるシーグラフアワードを、2013年には紫綬褒章を受章し、今年8月には国際学会において世界の卓越したCGアーティスト13人に選ばれています。河口氏の作品は、現在、鉄砲館にも展示されております。

お二人目は、田上容正医師が、離島振興70周年の節目に離島振興功労者として国土交通大臣から表彰されました。約60年にわたり、離島医療の発展や学校医としての児童生徒の健康維持増進、図書館の

寄贈による子どもたちの健全育成に多大な貢献をされました。お二人には、心よりお祝いを申し上げますとともに、あらためまして、敬意と謝意を表すものでございます。

もう一人、先の大相撲九州場所で、現和出身の島津海関（中園 空さん）が、9勝6敗の好成績を上げ、来年初場所での新入幕に大きく前進いたしました。これからの益々の活躍を島民一体となって応援してまいりたいと思います。

次に行事等についてであります。新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見合わせておりました「地域と市長と語る会」であります。今年度は4年ぶりに全校区開催を計画し、8月25日の開始からこれまでに12校区中11校区終えたところです。

市民の皆さんと市政について直接語り合う機会を持つことで、より市政への理解を深めていただくとともに、頂いた貴重なご意見や提言は、全庁的に共有し、今後の行政運営に反映できるよう努力してまいります。

10月29日には、日泊みなと公園で市商工フェスタが開催され、多くの市民で賑わいました。今年は、ハッピーハロウィン西之表も同時開催され、仮装した多くの市民がイベントを盛り上げました。夜

には鉄砲伝来・日葡交流480周年を記念した花火大会もあり、秋の夜空を豪華に彩りました。

文化事業では、4年ぶりに市民文化祭が11月4日と5日に開催され、多くの皆さんにご参加・ご鑑賞いただきました。

スポーツ事業では、11月19日に第52回西之表市駅伝競走大会が開催されました。伊関小学校をスタートし、田之脇公民館前ゴールの10区間14.4kmに13チームがエントリーし、健脚を競いました。榕城下方が優勝、2位下西A、3位榕城上方、古田が躍進賞という結果となりました。

次に福祉関連事業についてです。

11月4日には、4年ぶりの通常開催となる令和5年度西之表市戦没者追悼式と奉納相撲大会がわかさ公園にて行われました。

当日は遺族会の皆様をはじめ、各校区・団体ならびに議員各位のご参列もいただきまして、戦没者へ追悼の献花を行い、平和への誓いを新たにいたしました。その後行われた奉納相撲では、小学生から一般まで校区対抗の熱戦が繰り広げられ、秋晴れの空に多くの歓声が響き渡りました。

また、11月20日には、市の福祉団体が一堂に会して親睦を深め合

う、福祉ふれあいスポーツ大会が市民体育館で行われました。こちらも4年ぶりの開催で、時間短縮の半日開催ではありましたが、レクリエーションや各団体のアトラクションが披露され、久しぶりの交流で楽しい時間を過ごすことができたのではないかと思います。

次に、防災関連についてです。

内閣府と合同の地震・津波防災訓練を11月12日に実施いたしました。今後30年の期間に高い確率にて発生が予想される「南海トラフ巨大地震」を想定し、遡泊地区をモデルにしての高齢者の早期避難訓練及び市内全体での避難訓練、防災講演会が行われ、市全体で1,644人の参加者がありました。この訓練等を通して普段からの防災意識の高揚に努めてまいりたいと思います。

次に、農林水産・畜産業の状況についてであります。

本市の基幹作物であるさつまいもにおいては、サツマイモ基腐病が令和2年度から拡大し、安納いもを中心に重大な被害をもたらしました。今年度につきましては、各農家による育苗期からの防除対策の効果が実を結び、前年度に比べさらに発生が少なくなっております。これまで、国・県・関係機関が一体となって、生産者への支援策に取り組んでいるところですが、引き続き次期作に向けた対策に

取組んでまいります。なお、安納いも等の青果用さつまいもにつきましても、平均見込反収1,600キログラム(昨年実績比+39%)、澱粉原料用さつまいもにつきましても、平均反収46.4俵(昨年実績比-3.3%)となっております。

11月29日には、安納いもブランド推進本部の生産販売部会による「種子島安納いも等品評会」が中種子町で開催され、箱部門において、西之表市野菜部会協議会青果用さつまいも部会が、銅賞を受賞されました。また、国の地理的表示保護制度(GI)登録を経て、さらなるブランド力向上を目指すため、新たに制作された「種子島安納いも」のロゴデザインのお披露目式も行われました。今後、関係機関と連携しながら国内外におけるPR及び販売促進に努めてまいります。一方、サトウキビにつきましても、7月の日照不足と8月の台風6号の影響で生育がやや遅れ気味となりましたが、9月以降の高温・多照(たしょう)により、概ね平年並みまで回復傾向で推移しております。平均反収は、6千473キログラム(昨年実績比-2.5%)を見込んでいます。

なお、製糖工場の原料受入を11月29日から開始し、年末年始休暇や増産推進日等を挟んで、来年の4月1日に受入終了予定となるよ

うです。高齢化による担い手不足という課題もありますが、さつま
いもからの転作や夏植え・秋植えの積極的な推進により、昨年度実
績比+18ヘクタールの増反が進んできております。受託組織のさらな
る強化を図るなど、将来を見据えた取組みを進めたいと考えていま
す。

畜産につきましては、飼料代等の高騰等による経営コストの増加
と市場価格の低迷により依然として厳しい状況にあります。直近の
11月の種子島家畜市場における本市産子牛平均価格は、47万6千
519円で前回10月のセリと比較すると、8万4千14円の上げと
なっておりますが、昨年同月と比較しますと、約5万8千円の下げ
となっております。

去る、9月30日に第72回鹿児島県畜産共進会が霧島市の始良中
央家畜市場で開催されました。本市からは、熊毛地区代表として、
若雌1区に中園昌吾さんの「つむぎ号」、株式会社 中園翔葵（な
かぞのとあ）の「なつこ号」の2頭が出品されました。結果は、「つ
むぎ号」が熊毛地区として過去最高の最優秀賞4席、「なつこ号」
も最優秀賞9席に入賞しました。和牛日本一の鹿児島県における上
位入賞は、本市の和牛能力及び生産者の飼養管理技術の高さを全国

に示すとともに、今後の本市畜産の振興と発展に繋がるものとなりました。

有害鳥獣のシカ対策については、捕獲と防護の両面からの対策を進めており、捕獲頭数については10月末現在で1,664頭（前年同期比 +20.9%）となっております。

林業につきましては、市有林における間伐を実施しており、本年度は、約9.3haの施業となっております。

水産業の状況ですが、近年記録的な不漁が続いていたキビナゴ刺し網漁については、本年度少しずつ水揚げされるようになっていきます。また、冬の味覚として親しまれているアサヒガニの今シーズンの漁が11月1日から解禁され、鮮やかな朱色のカニが水揚げされています。

次に商工業についてです。

10月21日から、歳末に向けた地域経済活性化や市民の生活支援のためのプレミアム付き商品券の販売を行いました。本年度は、8月から事前申込や大字地域での販売を行うなど、多くの市民が購入できる取組を行ったところではありましたが、最終的に残った商品券の市役所庁舎での販売において、交通渋滞等、混乱を招いたことに

対しましては、充分反省をしております。寒いなか早朝より並ばれた市民の皆様には、ご協力いただき誠にありがとうございました。

最後に馬毛島問題についてです。

私は、昨年の12月定例会所信表明演説において、「民意がわかれる中、一方の考えのみを主張して、あるいは一方の考えをないがしろにすることは、市長の立場としてはできない」旨、そして、「市民に不利益とならぬよう、市民の安心安全と市の発展に責任を有する市長の立場として対応すべき場面もある」旨、述べさせていただきました。

現実の動きに対し、その都度、最善の選択を行い、この問題に対応してきています。

特に、工事関係者の増加に伴う市民生活への影響の緩和、工事に伴う環境保全措置につきましては、その対策について防衛省と協議を重ねてきています。

困難に立ち向かい、引き続き、市長としての責務を全うしてまいります。議員各位並びに市民の皆様方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

それでは、本日提案いたしました議案についてご説明いたします。

議案第64号から議案第65号は、2トン及び3トン給水車購入に係る売買契約についてです。議案第66号は、西之表市印鑑条例の一部を改正する条例の制定についてであります。議案第67号は、公共施設の安定的な維持管理を図るため西之表市公共施設維持管理基金条例を制定しようとするものです。議案第68号は、国の法律の一部改正に伴い、西之表市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正するものです。議案第69号は、政令の整備に関する政令が公布されたことに伴い、西之表市国民健康保険税条例の一部を改正するものです。議案第70号から議案第71号は、西之表港洲之崎地区内公有水面の国・県埋め立て分について議会の議決を求めるものです。議案第72号から議案第73号は、公の施設の指定管理者の指定についてです。議案第74号は、令和5年度西之表市一般会計補正予算（第4号）についてであります。

歳入歳出予算の総額に8,367万4千円を追加し、予算総額を141億5,872万7千円とするものです。

本予算の主なものについて御説明いたします。

歳入では、市税において、当初見込みよりも、たばこの消費本数

が増加していることにより、2, 363万8千円、国庫支出金では、マイナンバーカードへの氏名のローマ字表記等対応と再編交付金事業追加によることで882万円、財産収入では、土地等貸付収入の実績などを主に1, 199万1千円、追加しております。

歳出では、再編交付金事業基金へ2事業分積み立てた経費や戸籍等への氏名の読み仮名の法制化対応のためのシステム改修などを主に総務費を4, 110万7千円、前年度精算に伴う国庫支出金返還金などを主に民生費を4, 064万6千円、突発的・特殊的な要因に起因して、経営が急激に悪化するなど大幅に売上が減少し、事業の持続に困っている市内の中小企業及び小規模事業者を支援するため、支援金を支給する新規事業、セーフティネット支援金事業を主に商工費に168万8千円、追加しております。

議案第75号から第79号は、それぞれの特別会計に必要な補正を行おうとするものであります。なお、人事院勧告関係等で後日、議案の追加を予定しております。

以上、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

令和5年12月5日

西之表市長 八板 俊輔

